



議会だより

とうえい



美しい星・日本一美味
しい鮎がいる大千瀬川
魅力が沢山ある東栄町
が大好き

東栄中学校 3年
伊藤 遼稀



ポットホール其自然美、地
域の人がやさしく声掛けし
てくれる
鮎・ジビエ等自然で育った
ものは美味しい

東栄中学校 3年
大脇 連

わたしの町



自然豊か・森いっぱい・動
物いっぱい・人が温かい・
川がきれい。
東栄っていいところいっぱい

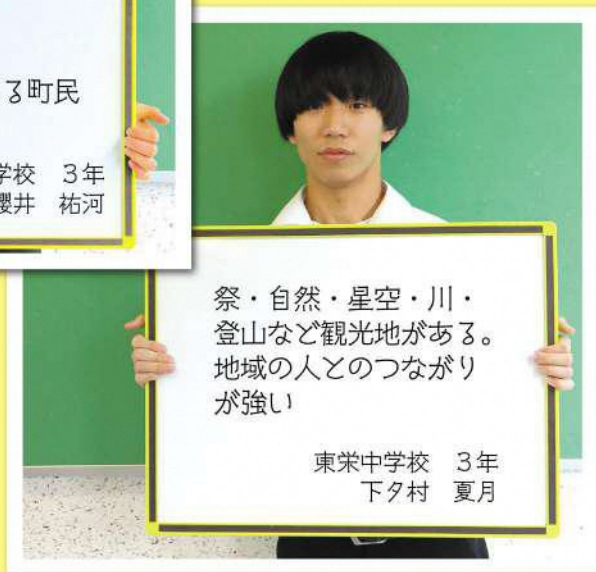
東栄中学校 3年
佐々木 佑太郎



②: 東栄チキン
⑤: 海より川の鮎
②: 笑顔
①: 生き生きしている町民
大好き東栄

東栄中学校 3年
櫻井 祐河

とうえい 2



祭・自然・星空・川・
登山など観光地がある。
地域の人とのつながり
が強い

東栄中学校 3年
下夕村 夏月

もくじ

9月定例会概要報告	P2-4
本会議討論	P5-6
一般質問ダイジェスト	P7-9
議会のしくみ	P10
わたしの町とうえい／人生なかよく	P11
議員の寄付行為の禁止について／議会活動報告／12月定例会の予定...	P12

9月 定例会

9月定例会 9月9日から21日までの13日間の会期で開催。
令和2年度歳入歳出一般会計・特別会計決算認定13件、令和3年度一般会計・特別会計補正予算議案4件、その他の議案6件、意見書2件、同意案2件、報告3件が上程されました。また3名の議員が一般質問を行いました。
審議された案件は**全会一致**または**賛成多数**で**原案通り可決**しました。

令和3年度補正予算関係他

一般会計補正予算について

○町長選挙費	944万7千円
○高齢者生産活動センター電圧工事費	121万6千円
○千代姫コテージ前公衆トイレ白アリ駆除費	80万3千円
○温泉施設ポンプ他修繕費等	423万5千円
○温泉敷地内充電スタンド更新工費等	69万3千円
○温泉施設脱衣所イス・野天ベンチ購入費	55万6千円
○温泉施設配管掃除ポンプ修繕費等	795万4千円

簡易水道特別会計補正予算について

○本郷地内配水管布設工事（新医療センター分含む）	1千285万7千円
○本郷下川農免線水道管移設工事費	2千79万円

東栄医療センター特別会計補正予算について

○待機者連絡用携帯電話購入費	8万4千円
----------------	-------

東栄町過疎地域持続的発展計画について

意見書（採択）

- ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- ・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

指名競争入札案件

小型動力ポンプ付 積載車購入

8,639,410円

納期 令和4年3月7日

契約業者 山佐産工株式会社

町営バス（小型バス） 購入

7,798,805円

納期 令和4年3月31日

契約業者 有限会社鈴木自動車

東栄医療センター （仮称）等 新築工事

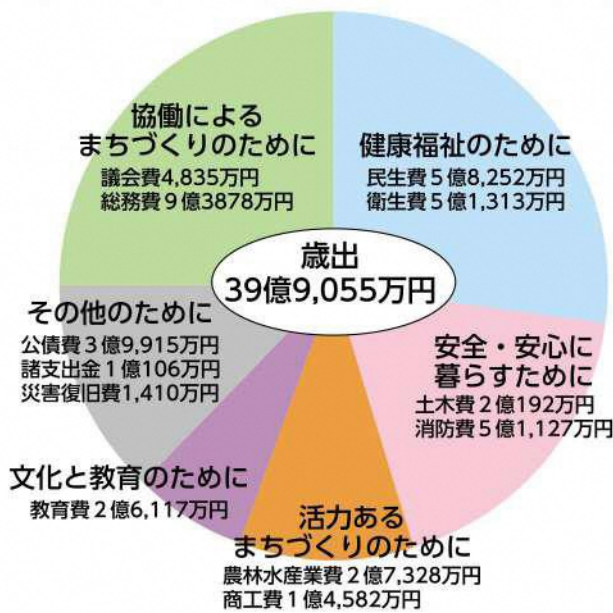
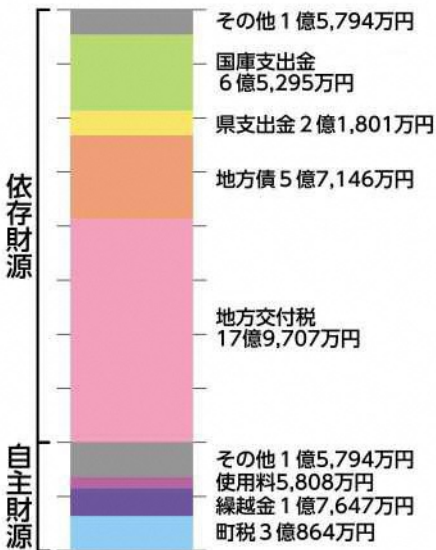
1,040,600,000円

工期 令和3年10月1日から
令和4年7月31日まで

契約業者 徳倉・三河・田中 特定
建設工事共同企業体

令和2年度一般会計決算概要

歳入
42億5,249万円



特別会計	
国民健康保険特別会計	3億7,602万円
後期高齢者医療特別会計	1億2,643万円
簡易水道特別会計	1億5,764万円
公共下水道事業特別会計	1億2,255万円
農業集落排水事業特別会計	3,024万円
東栄医療センター特別会計	5億5,047万円

※詳しくは、広報とうえい10月号等をご覧ください。

決算特別委員会概要 一般会計

- 問** 福祉タクシー利用券の交付事業は4年度連続で利用額が減少している。令和元年度と同様、前年度に利用しなかった対象者には案内を送付しない方針なのか。
- 答** 令和2年度には38名が482回利用した。利用者は前年度から2名増えたが、1人当たりの使用枚数が減っている。前年度の利用者のみ申請案内を送っている。ホームページや広報などで広く伝えるようにしたい。
- 問** 臭気指数測定事業は予算2回分のうち1回しか執行しなかった。近隣住民の受け止めを伺う。
- 答** 令和元年度の事業者による脱臭装置の改修で、悪臭が軽減されたと認識し、1回にした。近隣住民からの苦情は受けていない。
- 問** 図書室用図書購入費3万4千518円、予算のほぼ満額が活用された。令和3年度予算9万円も同様に活用するか。
- 答** 現時点の今年度の新刊図書購入は49冊、執行率63%、予算満額を執行する予定である。
- 問** 花祭保存会補助金50万円。新型コロナのもと、新たな予算措置が必要ではないか。
- 答** 保存会の一番大きな悩みは、担い手の問題だ。花祭りの中止が続けば、子ども達への伝承が途切れてしまう。お金では解決できない。コロナ禍で工夫している事例の紹介など、各地区に力添えしていきたい。
- 問** グリーンハウスの指定管理委託料1千478万円に対して、収入138万円。今後の対応は。
- 答** 指定管理料は施設の維持管理の支出が大部分で、草刈り等の場内整備などで固定費がかかる。宿泊者等の収入で補填するところだが、コロナで厳しい状況である。
- 問** ふるさと納税収入は平成30年度に1千万円を超えたが、令和元年度745万円、2年度642万円と落ち込んでいる。理由を伺う。
- 答** 他自治体の参入が増え、競争が激化している。返礼品の差別化が難しくなった。PRに力を入れている。
- 問** 空き家バンク事業の実績が大きく伸びた。移住施策の実績を伺う。
- 答** コロナ禍で移住希望の相談は増加している。空き家バンクは町内在住者の利用が成立件数の増加につながっている。

国保特別会計

東栄医療センター特別会計

- 問** 国保財政調整基金に1千115万円を繰り入れた。決算剰余金の100分の50以内の額とする基金条例より多く積み立ており、条例違反ではないか。
- 答** 条例に抵触すると認識しているが、保険料の急な上昇を防ぐためになるべく積み立てたかった。
- 問** 人工透析の中止は収支にどう影響したか。
- 答** 透析は、ほぼ収支均衡、若干の赤字だったので、収支に影響しない。

文教福祉委員会

一般会計補正予算

問 今年7月、医療センター等整備事業の財源に予定していた国の国保調整交付金1億4千227万円が交付を受けられないことがわかった。平成30年の「基本構想」策定から今年まで、厚労省に問い合わせなどして、事前に把握できなかったのか。

答 財源は、町が積算したもので、国・県には確認していない。

問 基本設計素案（昨年7月）で、保健福祉センター内にあった診療室の位置付けが変わり、交付要件を満たさなくなったのではないのか。

答 子育て支援センター内の診療室で、乳幼児健康・子どもの予防接種を行う計画だった。保健福祉センター内に健診用の診療室・検査室が必要だったが、複合施設として診療所や子育て支援センターの診療室を使うことで交付されると考えていた。

問 （財源更正を）町民に説明する考えはあるか。

答 議会を通じてお詫びさせていただいた。財源の見通しが甘かったことを反省し、今後、国・県に向くなど最善の努力を尽くす。議会定例会だけでなく、しっかり伝えていきたいが、不確定な情報を出して住民に不安を与えることのほうが大変だ。

問 交付金に替えて、過疎債1億6千万円を借り入れる。過疎債の7割が交付税の基準財政需要額に参入されるといふが、実際の交付額とは異なるのではないのか。

答 過疎債の元利償還金の7割が交付税の基準財政需要額に参入される。議員が言うように、年ごとに違うかもしれないが、過疎債の7割から町の財政力指数0.19を除いた81%が交付税で賄われるという考え方もできる。

過疎地域持続的発展計画

問 「医療センター」の名称をこの計画に記載すれば、改称時にどうなるのか。

答 改称の際には、計画を変更するために議会の議決が必要になる。

総務経済委員会

一般会計補正予算

問 県の補助金・有害鳥獣駆除委託料104万円の対象を伺う。

答 昨年度に続き、イノシシ1頭あたり1万3千円が県から上乗せして補助される。

問 温泉の椅子等の購入費55万円に森林環境譲与税を充ててよいのか。

答 脱衣所の椅子や野天風呂の椅子には地域産材を用いるので、森林環境譲与税の目的に適っている。

問 温泉の充電スタンドを4G対応に更新する工事69万円。町が負担するメリットを伺う。

答 町に入る維持権利金50万円から、電気代・メンテナンス費用150万円を差し引くと年間百万円の赤字となるが、温暖化対策の上でも、町内唯一の充電スタンドを維持する必要がある。

問 総務費の税還付金は、固定資産税の課税誤り（平成24年から令和3年ま

で、32名分80万円）によるものか。また、それ以前に徴収過誤はなかったか。

答 課税誤りによるもの。課税誤りによるもの。予算の承認後、直ちに還付の案内を行う。平成24年以前は正常に課税されている。

過疎地域持続的発展計画

問 町長の新公約（透析「再開に努力」）を計画に加える考えはないか。

答 総体的な計画であり、個々の計画を載せるものではない。

問 計画に明記することによって補助金や助成の対象になるのか。

答 過疎債の裏付けとなる計画であり、過疎地域の持続発展に関する補助制度を使う際に裏付けとして活用する。

問 消防団員は、女性団員を含めて確保するよう計画に明記すべきだ。

答 担い手不足が課題であり、消防はもちろん各分野で、女性・男性の力が重要になる。今後、町の第1期男女共同参画プランを策定し、男女共同参画の視点で計画を変更したい。

本会議質疑

一般会計補正予算（追加）

問 公金を使わないと温泉を維持できない。（株）とういいに建物を寄付し、経営を任せる議論が必要だ。グリーンハウスや天文台の必要性も議論すべきだ。

答 監査委員の意見書に「公共施設の民間への移譲や縮小・廃止等の検討」とある。温泉の修繕を含む長寿命化計画、経営分析など調査・検討する。

医療センター等新築工事請負契約

問 契約は税込み10億4千60万円。落札額が予定価格と同額になった理由は、入札が3回行われ、入札価格は、次のとおり。

入札結果と金額		(単位: 百万円)		
共同企業体名	1回目	2回目	3回目	
徳倉・三河・田中	997	950	946	
吉川・松井・鈴木	1,020	-	-	
オノコム・太平・小笠原	1,074	-	-	
鈴木・遠山・筒井	1,039	-	-	

※2回目以降は1社のみ入札

本会議討論

令和3年度一般会計
補正予算(専決)

賛成6名・反対1名

反対討論

浅尾もと子 議員

出直し町長選は、町民953人が地方自治法にもとづき町長の解職を求め、町長の辞職で行われた。中日新聞は社説で「民主主義が健全に機能した好例として評価したい」と書き、誇るべきことだ。町長は中日新聞に「混乱を招いた責任がある」とのべている。リコール回避の機会があった。「目玉チラシ」の配布は町民の心を傷つけた。町長は、出直し選挙チラシに「みなさんの声にしっかりと応えします」と書いたが、反省の言葉はない。町民を顧みない行政が続ければ、今後同様の事態が発生すると考える。

賛成討論

加藤 彰男 議員

今回の補正予算の専決処分は、地方自治法(第145条)に定められた「首長

の退職」という条文に則って、村上町長が判断をして退職の手続きをした。そして、それに伴い自治体として町長を選ぶ選挙を実施するため、必要な選挙費用を予算化したので法的に問題はない。

一般会計決算

賛成6名・反対1名

反対討論

浅尾もと子 議員

町税の落ち込みは、人口減少・高齢化で課税所得者の減少が原因だ。今後、国の交付税の活用が重要になる。しかし防災行政無線配備事業(総額6億円のうち3億円の執行)では、戸別受信機の代替のテレビ配信事業556万円やタブレット(令和3年度から5年契約で554万円)は交付税の対象とならず、半永久的に町の負担になる。さらに旧東栄病院の清算金10億8千8百万円は、町の医療に使われず、積み立てられた交付税だった。県が新城以北に派遣する医師12人のうち医療センターには、たった1人。財政面も医師確保も努力が不十分だ。

賛成討論

加藤 彰男 議員

令和2年度決算は「新型コロナウイルス感染症対策に関する政策・事業」を進めると同時に、これまでの「町政の継続した諸事業」を実施した決算である。感染対策では、国の「臨時交付金」で「医療センター・小中学校・保育園・放課後児童クラブ・子育て支援センターなどへの感染対策」「暮らしを支える商品券事業」など、多くの事業が実施された。そのほかにも住民の毎日の暮らしに関わる多くの事業が行われた。子どもからお年寄りまで住民の願いに応える町政を一層推進すること求めて、「決算認定」に賛成するものである。

国保会計決算

賛成6名・反対1名

反対討論

浅尾もと子 議員

第一に、住民福祉課の条例違反が判明したことだ。町の国民健康保健基金条例が定める上限を上回る1千115万円を基金に繰り入れ、1億円の基金残高は年間保険料収入をこえた。平

成30年度にも上限を超えて繰り入れており、条例無視が常態化していたのではないか。

第二に、町の国保料が高いという点だ。調定額は一人あたり8万7千178円、一世帯あたり13万1425円。県は、東栄町の標準保険料率を大幅に下げたが、町は料率を据え置きにしてきた。コロナ禍のもと、基金への積み立てをやめ、保険料の減額に踏み切るべきだった。

賛成討論

山本 典式 議員

国保会計の現状を考えた時、条例以上に基金を積み立てたことは、県が主体で財政運営をしているために納付金を収める際、医療費の状況によっては大きな変動があり、それに対応するには、基金に余裕がないと難しい面があるとの事だった。それについては先程課長より条例改正するとの説明があったので、この点を理解をして今回の決算については賛成する。

東栄医療センター会計

賛成6名・反対1名

反対討論

浅尾もと子 議員

第一の理由は、町が2年度の国の特別交付税を計算していなかったことだ。今後、新たな無床診療所への交付税が、わずか2千万円に減ることもわかった。国は、過疎地域の医療を守るため、不採算地区の診療所の特別交付税を大幅に引き上げた。町と同じ人口規模の高知県梼原町、宮崎県椎葉村の病院では交付税を活用し、入院30床・救急医療を守っている。

第二に、赤字は改善している。交付税を活用すれば、町の負担は1億円台になると考える。国の支援が減る無床診療所で年間1億円の赤字を見込むより、有床の維持こそ町の進むべき道だ。

賛成討論

伊藤真千子 議員

人口減少と新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響し入院患者数40%減、外来患者数15%減、約2億円以上の赤字決算。安心して医療が受けられるよう感染防止対策の徹底、また自宅に訪問し健康指導等を行い医療体制強化に努めた。今までの医療を職員が力を合わせた結果と判断する。

過疎地域持続的発展計画

賛成5名・反対2名

反対討論

浅尾もと子 議員

計画は「コロナ」の影響にふれていない。町の事業者は「コロナで人の流れが変わった」「経験的な蓄積が活かせず、在庫が増える」と言う。コロナの影響が、今後数年間つづくという要素を盛り込むべきだ。

町の財政・花祭りの危機は、人口減少と超高齢化が原因だ。計画は、交流人口と新規事業者の呼び込みという「外部」頼みの感じだ。定住人口を増やすため、しっかりと医療・介護・教育の基盤が必要だ。町長は新公約「透析施設の誘致を含め再開に努力」を計画に明記せず、政策実現にかけると本意を疑う。行政の信頼を損なう計画であり反対する。

賛成討論

加藤 彰男 議員

愛知県では、東栄町・設楽町・豊根村・新城市・豊

田市の5市町村・9地域が過疎地域に指定されている。過疎地域は「過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法」の特別措置によって、「過疎債」などの財政・行政・税制など様々な支援措置が講じられている。自主財源が厳しい本町は、県の「過疎地域持続的発展方針」に基づき地域の振興政策を進めることが重要である。これまでの成果を生かし、「特別措置法」に基づき本計画の実効性を高めることを求め賛成する。

令和3年度一般会計補正予算

賛成5名・反対2名

反対討論

浅尾もと子 議員

町が、新たな診療所等の整備費に見込んでいた国の交付金1億4227万円を受けられなくなった責任が明らかにない。町は、過疎債1億6千万円に振り替え、今後9年間かけて返済すると言うが、これは町民の負担になる。財政

計画を作り直すべきだ。国は「子育て支援センター」内の診察室は同センターの「休館時」しか健診に使えないこと、設計図面上も「保健福祉センター」と別物と判断したことで、町は交付申請を断念した。町民の健康診査などを行う保健福祉センターの名目が失われた。建設計画を見直すべきだ。

賛成討論

伊藤 芳孝 議員

今年度と来年度で行う東栄医療センター保健福祉センター（仮称）の建設工事のスケジュールの変更が生じ、継続費の年割額の変更があり、また財源に予定していた国保の特別調整交付金と過疎債の組み替えがあった。病院の新築移転については10年間関わってきたがやっと見えてきた。ここで頓挫すればまた次の選挙まで先送りになる。「大騒動のあと」の町長選挙により町民の皆さんにもご理解を頂けたので前に進めるべき。また本補正には本庁舎と分庁舎間の通信ネットワークの回復やとうえい温泉

施設の修繕、急傾斜地崩壊対策事業費負担金などの大事な予算もあり賛成する。

反対討論

山本 典式 議員

保健福祉センター建設事業における国庫補助金約1億4千2百万円が見込めなくなった以上、慎重な対応が必要である。一步誤ると保育園建設と同様の結果になりかねないと思う。議長の言葉をかりて言えば「最終的な責任は議会にある」といったこの言葉を信じて、議員の一人として反対する。

東栄医療センター（仮称）等新築工事請負契約

賛成5名・反対2名

反対討論

山本 典式 議員

入札執行の時点においては、財源確保がされてなかった状況であり、さらに現時点では不利益をこうむる様な財源確保で入札執行したことは、たとえ法に抵触

しないとしても、町長は道理にあった慎重な対応をすべきであり「結果良ければ、すべて良し」といった手段を取るべきではない。

賛成討論

伊藤 紋次 議員

東栄医療センター建設に係る予算は、令和3年度当初予算で可決され建設へ事務を進めていたが、町長に対する解職請求の成立、町長の辞職、出直し選挙と紆余曲折はあったが、今定例会で補正予算も承認され契約に至っている。従って、財務会計上の問題ないものとする。

反対討論

浅尾もと子 議員

町民の負担を増やす入札・契約は拙速だ。町民に説明することなく契約を締結することは許されない。





加藤 彰男
議員



一般質問動画へ

Q 子どもたちを守る新型コロナウイルス感染対策を A 国・県のガイドラインに沿って、 対策を進めたい

問 新型コロナウイルス感染の中、子どもたちの感染予防・感染対策が、重要な取り組みである。東栄町は文科省のガイドラインに沿ってどう運用するのか。

答 教育課長

県教育委員会の対応を参考に、町の方針を決めている。保護者には臨時休業等の基準を文書で知らせている。

問 国のガイドラインに「保健所との連携」とあるが、この点はどうか。

答 教育長

新城保健所と連絡をとり、学校の対応を確認している。学校医の指示・指導も受けて、対応できるようにしている。

問 町では保育園、小学校、中学校の連携の取り組みを進めているが、感染対策での連携した取り組みはどうか。

答 住民福祉課長

保育園の対策は、登園時の園児の健康観察や保護者の送迎の検温・消毒等他、行事の二部制での開催なども実施している。感染対策のマニュアルも作成している。

答 教育課長

小・中学校は国の「交付金」を活用して、感染対策の施設整備や備品の購入した。学校では健康観察カード、マスク着用、手指消毒をはじめ、授業・実習・給食・部活でも密にならない工夫をしている。学校医からも助言を頂いている。

問 子どもが保育園、小学校、中学校にそれぞれに通っている家庭もある。家庭へ分かりやすい情報提供は検討しているか。

答 教育長

学校長と園長の校園長会を毎月開催して、連携や情報交換をしている。保護者には、メール等含め必要な連絡や連携ができるようになっていく。

問 文科省は、コロナなど感染症も含め、オンラインの授業学習の通知を出している。町も1人1台の学習用タブレット端末が配付されているが、今後の状況ではどのように活用するのか。

答 教育課長

小学校は家庭・学校の接続を終えて、今後オンラインをテストする予定。中学校も、生徒・教員の研修後、家庭への持ち帰りを行う予定。タブレットの家庭学習に向けて、ガイドラインを準備している。

問 タブレットは家庭の事情も配慮して、小・中学校や教育委員会

でしっかりと対応していくという理解でよいのか。

答 教育長

教育委員会で「家庭学習のガイドライン」や「子どもの使用ルール」等も出して、その理解の上で保護者からの借出申請を受け、端末を持ちかえる手順で進めている。

Q 「選挙」後の 町政と住民合意の あり方は

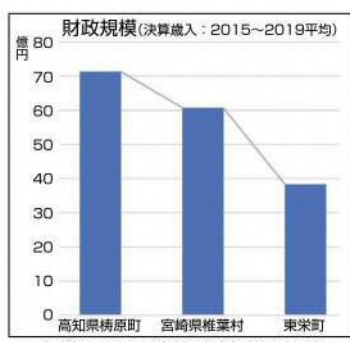
A 住民への 丁寧な説明を 今後も進めたい

問 今後の医療保健施設の建設にあたり、住民の方々への説明をどう進めるのか。長年、論議してきた医療福祉のあり方や医療財政の資料も含め、住民に説明する必要があると思うが、どうか。

答 住民福祉課長

建設にあたり無床診療所の方向と今後の対応や仕組みを説明していきたい。経過についても資料を作成し、広報誌、回覧、行政報告会等で情報提供をしていきたい。

問 この間のマスクミ報道で、町政について正確でない情報も一部伝わっていると思われる。例えば東栄町に類似する公立病院を持つ自治体の事例（高知県梶原町・宮崎県椎葉村）が挙がっていたが、自治体の財政規模も違っている。同じように（病院経営が）できる“という受け止めも一部に広がっていないか。



報道された自治体財政規模の比較

答 町長

それぞれ自治体によって、財政状況も含めて実態が全く違う。調べれば状況はすぐに分かるのに、残念に思う。今後は報道関係への会見を開き、資料を渡して対応したい。報道関係にしっかり伝え、もし報道に間違いがあれば訂正を出していきたい。



山本 典式
議員



Q 新たな公約の中身は

A 一時的に預かる緊急ベッドを用意、透析は町営での再開は無理、クリニックの誘致はお互いの条件が整うかによる

新東栄医療センター・今回の選挙について

今回の選挙は争点が明らかで、町が示す医療体制の縮小を受け入れるか否かの町民にとって重要な選挙であった。しかし選挙戦の最中、村上候補側に思いもかけない大きな政策転換があり、皆さんの声にしっかりと応えします。①緊急ベッドを新たに確保②人工透析は民間クリニック誘致も含め再開に努力と明記されていた。町長は新たに公約をした。一日も早い公約の実現を願うものである。

問

選挙の経緯と結果を教訓として捉えれば、新たな公約を選挙戦の最中に公表するなら、

答 町長

残念なのは、お互いの公約について公開の場で討論ができなかったことである。選挙の経過から町長の解職請求になりこの6ヶ月間にはたして話し合いができたか。

問

それなら何故選挙戦の最中に新たな公約を打ち出したのか。短い時間でもやる気になればできる。反省していただく。次の質問に移るが、新たに公約した具体的な内容とロードマップを示すべきと思うが、どうか。

答 町長

緊急ベッドは一時的に預かれる様にすることで、医療行為としてのベッドは当初から考えていない。人工透析は町営での再開は無理である。誘致といってもお互いに条件が合っって相手方と話しができるかどうかである。又北部医療圏内の透析医療施設の中で何とか対応できる状況にあると思っている。通院に困る方には補助制度を創設させていただいている。従って設計上の中での見直しをする状況にはない。

問

選挙のチラシにベッドを確保、人工透析は再開努力という新たな公約をしながらまったくひっくり返した様な答弁はもってのほかではないのか。また公約違反をするのか。続けて質問するが、新たな公約を決定した町長の真意を問う。

答 町長

先程答弁した通りである。

問

町広報誌における町長就任挨拶の中で「新たな公約は町民の皆さんに選挙の結果認めていただいたので今後の町政の中で進めていきます」と明言。これを見れば誰だってベッドの確保、人工透析の再開努力をしてくれると思う。

答 町長

町長の後援会チラシに「センター長にお聞きしました」というコーナーは、むしろ医師の確保について町長の説明が欲しかった。別のチラシには「先生方は状況によって身の振り方を考える」とまで明言している」との記述があった。この点の説明が必要ではないか。

問

新聞に「今回選挙円余の経費は混乱を招い

答 町長

選挙後正式な記者会見は開いていない。抗議をしたが訂正文は出してもらえなかった。公費負担を受けられるビラやポスターの交付申請は、町にはしていない。

問

仮に町長が今回の選挙で混乱の責任を感じているとすれば、法的な責任は別として道義的な責任と思う。だとすればお金で解決すべきではなく、町長リコールを考えれば公約を守らなかった事にもあると思う。今後は公約をきちんと守る事が道義的な責任を果たす事にもなるのではないかと思う。答弁はいます。





浅尾もと子
議員



町長の新公約・チラシの内容を具体的に伺う

問 町長の新公約「透析は民間クリニック誘致を含めて、再開に努力」。町長は記者会見で「透析中止後に民間から町に進出の相談があった」「複数から話があった」と明かした。それはいつか。

答 町長 令和3年度に複数の団体から問合せがあり、話を聞いた。

問 透析クリニックとの相談や、決起集会での町長の発言「看護師はじめ技術職、職員みんな総意でこの『信を問おう』と、そうなりました」の根拠を情報公開請求すると、町長は「回答は控える」という条例違反の通知をした。透析事業者とのプライバシーに相談を町に伝えていないのか。

答 町長 相談が複数あったこと

問 新公約「緊急ベツト」「1〜2床確保」とは何か。

答 町長 緊急ベツトは一時的に預かるもので、医療行為としての病床は当初から考えていない。設計は変更せず、現在計画している部屋やベツトを活用できる。

問 バイオマス発電施設について、町長は、反対表明せず、町独自に悪臭や汚水などの影響も検討しなかった。町長の新公約「住民の皆さんとの話し合い」とは何か。

答 町長 住民の皆様の中に

り添いながら、その声をしっかりと聞いてきたし、これからもそういうふうにしていきたい。

問 町長後援会が全戸配布したチラシには「センター長にお聞きしました。私は尾林候補の公約3点は責任を持って引き受けることは出来ません。入院、透析、救急に必要な医師、看護師の人員は現状の数倍の人員が必要となり、多額な費用がかかります。そして現在受けている他の医療サービスは受けられなくなり、上記の多額の費用は誰が負担するの？当然皆さんの負担が増えるのです」と書かれている。丹羽センター長に記載内容・校正原稿を確認したか。全戸配布の許可をとったか。

答 町長 尾林候補の公約3点をセンター長として責任を持って引き受けることが出来ないとのことであった。チラシは討議資料として配付したもので、当然、先生にも届いている。

問 伊藤幸義・北設楽郡医師会会長は、選挙後の8月10日付の医師

会員全員への手紙で、8月3日に医師会事務局を通じて丹羽治男先生「本人に聞いたのだ」と書き、丹羽先生は「チラシは空想または幻想とお考えください」という返事だったと記している。チラシは有権者に「尾林候補に投票すると先生方は町を出ていく」という不安を与えた。丹羽先生の発言は、「フィクション」「虚構」という意味にならないか。

答 町長 私が回答したわけではないので先生にお聞きしたい。

問 チラシには「先生方は状況によって身の振り方を考える」とまで明言されています。とある。私が7月29日、丹羽美和子先生に訊ねると「否定も肯定もしない」と言い、先生が町長選挙と距離を置いていると確信した。3人の常勤医師は、いつ・どこで「明言」したのか。

答 町長 (浅尾議員が) 美和子先生にお伺いしたら、それが真意だと思う。その事をいつ言ったかどうかという問題ではないと思っています。

村上たかじは 持続可能な医療(診療所)を全力で守ります!

過去数十年の懸案である新診療所の建設は、国・県の医療方針に基づき常勤医師3名はじめ、医療センター職員の総意であり、町議会で議決されたものです!!
先生方は状況によっては「身の振り方を考える」とまで明言されています。

医師・看護師の確保が困難 年間2億数千円もの赤字
東栄町の医療(診療所)は、**継続不可能**となります!
入院、透析、救急診療の中止は、先生、看護師など職員の要望を受けて、最終的に議会が圧倒的多数で決定し、町長の独断では決まていません。

尾林候補の公約3点

- 病床10床確保
- 透析治療の再開
- 救急診療の復活

果たして実現可能でしょうか?

センター長にお聞きしました ※(7月14日(水)午後6時 原田安生議員が確認)

私は、尾林候補の公約3点は責任を持って引き受けることはできません。

○入院・透析・救急に必要な医師・看護師の人員は、現状の数倍の人員が必要となり、多額の費用がかかります。
そして、現在受けている他の医療サービスは受けられなくなります。

上記の多額の費用はだれが負担するの?
当然、皆さんの負担が増えるのです。

議 | 会 | の | し | く | み

議会の役割

町議会は、町としての意思を決定するところです。あわせて、町の行財政運営が適法・適正、公平・効率的かつ民主的に行われているかを審議し監視するのが議会の役割です。

私たちが住んでいる東栄町を住みよいまちにしていくためには、道路、下水道などの生活環境の整備や医療、福祉、教育などの公的サービスの充実を図っていく必要があります。そのためには、実施体制、ルールづくりといったさまざまな課題を解決していくことが必要です。その話し合いが行われる大切な機関が、町議会です。

町議会は、町政を進めていく上での重要な事柄（例えば、条例の制定や改廃、予算を定めること、決算を認定することなど）を決定します。

会議の流れ

議会（定例会）における主な会議の流れは次のとおりです。一般質問については、次号で紹介します。

本 会 議	開 会	議長の開会宣告により有効な議会が活動できることになります。
	会期の決定	議会を行う期間を決定します。
	案件の上程	会議の議題として審議の対象とすることです。
	提 案 説 明	議案の提出者が議会に提案した理由を述べます。
	質 疑	議案の内容について、疑問があれば、議員が提案者に質問します。 議案の疑問点を質することが目的です。 ※議会議事規則第52条 発言は簡明にするとともに、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。
	委員会付託	議案などを詳細に審議するため、議案の内容により所管する常任委員会（総務経済・文教福祉委員会）に送られます。
	採 決	委員会付託を省略するものは、討論、採決を行います。

委 員 会	議 案 審 査	2つの常任委員会（総務経済・文教福祉委員会）が開かれます。 付託された議案や陳情等について、町の執行部へ質疑し、より詳しく審査した後に委員会として賛否を決めます。
-------------	---------	--

本 会 議	委員長報告	委員会で行われた審査結果について、委員長が報告します。
	討 論	議員が、採決の前に議案に対して賛成・反対の意見を表します。
	採 決	議案について議員が賛成・反対の意思表示を行い最終的な意思決定をします。
	閉 会	議長の宣言で閉会します。

わたしの町とうえい2

町のために自分たちができること

東栄中では「共生タイムⅡ総合的な学習の時間」で1年生は地域の魅力を再発見し、2年、3年で県外、海外と視野を広げ、地域のためにできることを考え、実践しています。

昨年度の3年生が、町と協力して、「ホテルの散歩道事業」の企画を考えました。今年度は、それを実現させるため、観光協会をはじめ、役場・企業・団体・町民と一緒に、まちづくりや振興イベントをサポートする「108中学生サポート部」が立ち上がりました。第1弾「108マーケット」は、コロナ禍により中止になりました。7月に、第2弾



動画作成の企画会議の様子

「星空おんがく祭で東栄町PR動画をしよう！」がスタートしました。コロナ禍でイベントがオンラインとなりましたが、町民の方が楽しめて町の魅力を世界に発信するPR動画を作りました。

まだ、始まったばかりの試みですが、「町のために役立つことをしたい」という生徒の思いや考えが、周りの方々の協力を得て、学校の枠を越えて広がっています。

(教頭 一野瀬泰根)

小中学生の様子は、学校ブログからでも知ることができます。ぜひ訪ねてみてください。



東栄小



東栄中

No.2

人生なかよく 林様 結婚60周年夫婦

仲睦まじく共に力を合わせ、ご家庭の繁栄と町の発展に寄与され結婚60周年を迎えられたご夫婦を紹介します。

人口減少・少子高齢化が進む中で、高齢者介護・福祉のあり方等課題となっています。長い人生を生きるためのお手本として、町の未来を照らすヒントを教えてくださいました。ありがとうございます。

- Q 仲良く長く過ごせる秘訣を教えてください。
- A お互い隠し事なく、仕事に専念する事。
- A 健康で働くことの好きな夫に寄り添い支え合っていく事。
- Q これからの目標は。
- A お互い健康で前向きに。他人に迷惑かけず楽しく過ごす事。
- A 毎朝畑仕事でストレス解消。ずっと続けたい。
- Q 町や議会に望むことは何ですか。
- A 議員は町民の代表です。議会で決まったことは町民に対して良い事も悪い事もあるが町民のために働いて欲しい。



林知恵子さん

林千本さん

議員の寄付行為の禁止について

議員は、公職選挙法により選挙区内の人にお金や物を贈ることが禁止されています。地域の行事等で議員に対し会費が伴う行事等の案内をされる場合は、案内文に会費（他の参加者と同額の会費に限ります。）を明記してご通知ください。



有権者が求めてもいけません。
町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

議会活動報告

29	28	21	15	14	10	9	6	2	9月	30	23	17	11	8月	30	26	19	12	7	7月
郡正副議長会	北設広域事務組合議会 定例会	第3回定例会最終日 議会報編集委員会	総務経済委員会	文教福祉委員会	決算特別委員会	一般質問	第3回定例会初日	議会全員協議会	議会運営委員会	愛知県町村議会セミナー	広域連合議会定例会	愛知県後期高齢者医療 広域連合議会定例会	東三河広域連合議会 定例会	新城設案消防事務連絡協議会	郡正副議長会	愛知県後期高齢者医療 広域連合議会臨時会	議会報編集委員会	議会報編集委員会	議会報編集委員会	

12月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください（電話 0536-76-0505）。

12月 6日(月)	本会議(議案上程・説明・質疑)
12月 8日(水)	本会議・一般質問
12月 10日(金)	総務経済委員会・文教福祉委員会
12月 17日(金)	本会議(委員会報告・討論・採決)

編集委員会 委員長：伊藤真千子／副委員長：加藤 彰男／委員：浅尾もと子

発行責任者 議長：原田 安生



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505